

日本遺産

「葡萄畑が織りなす風景 -山梨県峡東地域-」

特別講演会



JAPAN HERITAGE
日本遺産



平成30年に「日本遺産」、令和4年に「世界農業遺産」に認定された山梨県峡東地域。日本遺産と世界農業遺産、2つの魅力を持つ峡東地域ならではの文化を知ることで、日本遺産「葡萄畑が織りなす風景 -山梨県峡東地域-」への理解をさらに深め、峡東地域の観光振興、地域活性化に繋がる講演会を開催します。

参加料
無料

日時 令和5年 **3月21日** (火・祝) 13:00 (開場)

場所 山梨市民会館 (303会議室) 定員 90名 (事前申込制・先着順)
(山梨市万力1830)

プログラム

開会 13:30

第1部 13:35~14:25

日本遺産について

(講演40分、質疑応答10分)

講師 文化庁参事官(文化観光担当) 飛田 章氏

第2部 14:25~15:15

峡東地域のワイン文化について

(講演40分、質疑応答10分)

講師 NPO法人KOSHUかつぬま文化研究所常務理事 中村 正樹氏

閉会 15:15



飛田 章氏

昭和47年生まれ。平成7年に運輸省に採用されてから、国土交通省や総務省等で幅広い業務に携わる。令和2年には、観光庁観光地域振興部観光資源課長として、コロナ禍の観光政策に尽力。令和3年より、文化庁参事官(文化観光担当)に就任し、日本遺産を通じた地域のブランド化を推進。



中村 正樹氏

昭和33年 山梨県甲州市勝沼町生まれ。大学時代を東京で過ごし勝沼へUターン、勝沼町役場へ勤務、市町村合併で甲州市役所となる。政策秘書課から産業振興課へ課長として配属。当初から世界農業遺産認定に向けた業務に関わる。退職後は、峡東地域世界農業遺産推進協議会アドバイザーとして活動。

お申込み先

申込期限 令和5年3月16日(木)

申し込みフォームもしくは峡東地域ワインリゾートHP内の最新情報からお申し込みください。

お問い合わせ先 峡東地域ワインリゾート推進協議会(事務局:山梨県観光資源課) TEL 055-223-1573

<https://wineresort.jp/>



申込フォーム



峡東地域
ワインリゾートHP

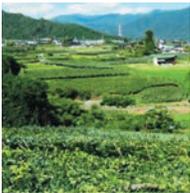


山梨県峡東地域

甲府盆地の東部は平坦地から傾斜地まで葡萄畑が広がり、初夏には深碧の絨緞、秋には紅葉の濃淡が日に映え、季節ごとに様々な風景を魅せてくれます。

奈良時代から始まったと伝えられる葡萄栽培は、先人たちの知恵と工夫により、かつて水田や桑畑だった土地を一面の葡萄畑に変え、またその葡萄畑に育まれたワインは日常のお酒として地域に根付きました。今も歴史を語る技術や建物は受け継がれ、葡萄畑の風景の中に溶け込んでいます。

主な構成文化財



山梨市、笛吹市、甲州市

葡萄畑

江戸時代に考案された棚栽培を改良し、平地から急斜面まで見渡す限り葡萄畑が広がっています。明治時代までは甲府盆地東部の勝沼地区に限られていましたが、現在では峡東地域の各地に広がっています。



山梨市、笛吹市、甲州市

甲州式棚栽培

竹を使った棚栽培により、江戸時代中期には甲州は日本一の葡萄生産量を誇るようになり、後に甲州式と呼ばれました。また明治31年に丈夫な針金を導入することにより、平地から急斜面まで葡萄を栽培できるようになりました。



甲州市
甲州市指定天然記念物

勝沼富町のブドウ(甲州種の本種)

山梨県固有のブドウ品種である甲州種は山梨を代表する甲州ワインの原料となる品種です。勝沼富町にある葡萄の樹は樹齢130年を数え、「甲龍」と名づけられた名木で、この甲龍とそのクローンに実った葡萄からワインを醸造している会社もあります。



甲州市 国宝(建造物)

大善寺

本堂は鎌倉時代に竣工した山梨県内最古の寺院建築で、木造薬師如来像が安置されています。行基が葡萄栽培を伝えたことから、「ぶどう寺」とも呼ばれ、今も寺域で葡萄を栽培しています。



甲州市
国指定重要文化財(彫刻)

木造薬師如来像

奈良時代の名僧行基の夢の中に葡萄を手にした薬師如来が現れ、その姿を像に刻んで大善寺に祀り、行基がこの地域に葡萄栽培を伝えたことと伝説的に語られています。薬師如来は「ぶどう薬師」と呼ばれて親しまれています。通常は秘仏として厨子に納められていますが、5年に1度のご開帳の際にはその姿を拝むことができます。



山梨市 国宝(建造物)

清白寺

かつては周囲を水田や桑畑に囲まれていましたが、葡萄畑に転換したことにより葡萄畑の中に仏殿が浮かぶような風景となっています。山門までまっすぐ伸びる参道の両脇には梅の古木が立ち並び、3月頃一斉に咲き誇ります。



笛吹市

一宮浅間神社

御祭神の木花開耶姫は酒造の守護神でもあるため、農作業の始まる毎年3月に、県内ワイナリーの約半分に当たる約40社がワインを一升瓶などで奉納しています。



甲州市
国登録有形文化財(建造物)

勝沼堰堤

日川下流の土地を水害から守るために大正4～6年に建設された砂防堰堤。岩盤を巧みに利用し、自然の滝のような景観を作り出し、祇園の滝と呼ばれる地域の名所となっています。日本で初めてコンクリートを使用した砂防堰堤としても知られる日川堰堤群の代表的な存在。



甲州市

日川治水施設

日川の流路を固定するために明治44年から昭和16年にかけて建設された土砂流出防止の74基の治水施設。現在、下部は土砂に埋まり、上部のみが葡萄畑の中に石畳のように見えています。周囲の土地は水はけのよい土地に変わり、葡萄畑として利用されています。



甲州市

養蚕農家の特徴を持つ和風建築ワイナリー

近代の養蚕農家の特徴を持つ民家で、現在は和風建築ワイナリーとして使われています。
<原茂ワイン株式会社>越屋根をもつ建物で、軒先まで葡萄棚が張り巡らされています。
<勝沼醸造株式会社>2階に棚干を設けた建物で、南側に葡萄畑が広がっています。
<丸藤葡萄酒工業>越屋根をもつ建物で、建物の南側には葡萄畑が広がっています。



山梨市、笛吹市、甲州市

歴史的ワイナリー

日本のワイン産業の黎明期からワイン醸造を行っている創業100年以上の歴史をもつワイナリーや東京オリンピックを契機とするワインブーム以前に創業した50年以上の歴史をもつワイナリー、最新の設備などでワインづくりを行っています。



山梨市、笛吹市、甲州市

甲州ワイン

日本固有種である「甲州種」の葡萄を原料としたワイン。昭和40年代から「甲州」と品種名を記したワインが作られるようになりました。平成22年OIV(ワインの国際的審査機関)が認証する葡萄品種として「甲州(Koshu)」を登録し、甲州種はワイン醸造用の品種として世界的に認められるようになりました。